

セカンドオピニオンについて、患者様とのQ&A

Q. セカンドオピニオンってなに？

患者さんの病気に対する考え方を主治医との良好な関係を保ちながら、複数の医師の意見を聞くことです。

医師の知識や経験、病院の設備などの相違により診断や治療に違いがあることも考えられます。そこで、主治医以外の医師の意見を聞くことによって自分に最適の治療方法を選択するうえでの参考としていただくものです。

現在様々な医療機関において、患者さんに対するセカンドオピニオンの体制づくりが広がっています。

苫小牧市立病院ではセカンドオピニオン外来を開設し、患者さんの要望や相談に対応します。

Q.. 専門医のセカンドオピニオンを聞いてみたいのですが・・・

まずは、主治医に申し出ましょう。「セカンドオピニオン」は、決して病院や医師をかえることではありません。基本的には第三者としての医師の意見を求めるということです。主治医に「セカンドオピニオンを希望したいのですが」と伝えて下さい。そして、疑問点は先に、病状を最も良く理解している主治医に聞いておいて下さい。

そこまでが終わったら、主治医に紹介状を書いてもらいましょう。また病理検査、画像診断、内視鏡検査、血液検査などの資料を借りて下さい。

あとは、これまでの治療経過や主治医の意見をまとめておいて下さい。また、セカンドオピニオン医に対する質問事項をあらかじめまとめておいて下さい。

Q. 担当の先生に紹介状のことをいいにくいのですが・・・

確かに言いにくいかもしれませんが、自分の病気のことに対して納得して治療法を選ぶことは、患者さんのもつ基本的な権利です。

自分の生命や身体に関して少しでも多くの情報を得たいという気持ちはあたり前のことで、どんな名医でも否定はできないのです。

患者さんのことを第一に考えている医師なら、必ず理解を示すはずですので、遠慮なく申し出て下さい。